寫眞週報

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

寫眞週報

情報局編輯
七月七日・第二百七十九號・十セン

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

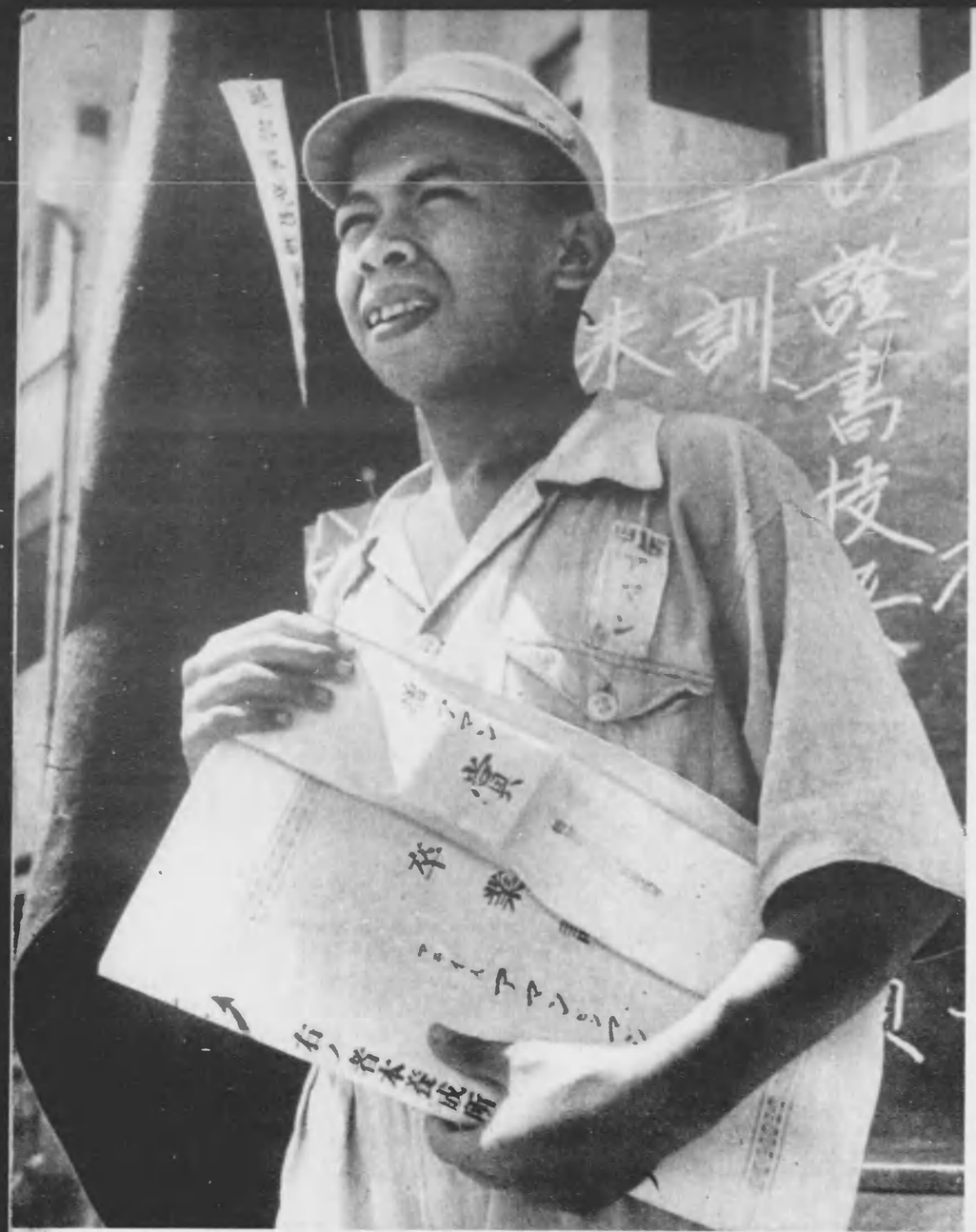
時の立札

塹壕に絹夜具を持込み
飯盒に刺身を盛り
長袖をひらめかせて
突擊ができようか

戰局は正に悽愴苛烈
國內もまた戰場
虛飾を拋つて決戰に
一億總蹶起の時は今

鄂戰の心もて貫かん
我等が衣、食、住

「時の立札」は他へ轉載その他に御利用下さい



南方はいよいよ明るく逞しく

敵が何とわめかうと東亞でも歐洲でも樞軸陣營の必勝態勢は微動だもしない。北阿戰線やアッツ島は大きな戰局の小さな搖り返しに過ぎなかつた。例へば東亞の現實、新らしい建設を見よ。帝國の必勝不動の態勢が日に强化されればこそ、敵の焦り方も必死になつて來てゐるのだ

殊に第八十二臨時議會で明らかにされた大東亞建設に對する帝國の所信、ビルマの獨立はいふまでもなく、今年中には比島も獨立させ、インドネシア民衆の政治參與まで實現させようといふあのおほらかな大東亞宣言に、敵のうけた打擊は察するに餘りある。開戰以來僅かに一年有半、大東亞共榮圏建設の堂々たる足並に敵の悲鳴さへ聞えるではないか

日本を盟主として急速に進む南方の建設譜、この一速の寫眞を先づ敵に見せてやりたい。そして東亞の新らしい歷史を十分納得させてやりたい

だが、この必勝態勢を切崩さうと、物質力を誇る敵が手段をつくして執拗な反攻を繰返すことも必然である。先づ勝たねばならぬ。武力戰の完勝によつて、東亞の態勢が如何なる手段を以てしても絕對不壞であることを悟らせるのだ。今こそ一億總蹶起、直接戰力の增强に挺身あるのみの秋である

撮影　舟山陸軍報道班員

⇧『どうだいアマン君、新らしく海に飛出す抱負は？』
『はいッ、訓練はなか〳〵苦しかつたですが、かうして一人前の船員にしていただいたことを本當に有難いと思つてゐます。勝つためには船と船乘りが必要です。きつとお役に立ちます』――昭南の現地船員養成所第一回卒業式から

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

所錬精錫のンナペ

南方はいよいよ明るく逞しく

⇧ 人間立つて歩けるやうな煙洞。この中を焙鑛炉から出た煙煙が流れる。煙洞は、冷却器と特殊な工作で多量の酸化錫が得られる装置である

⇨ 袋に詰つた原鑛と輝く製品錫の山。イギリス人に見せたらさぞかしロ惜しがるだらう

マライの錫とゴムは、いづれも世界一の豪勢さである。占領後間もたく、生産過剰の問題などをまことしやかに口にする人もあつたが、『多きを憂へず』で、どん〳〵内地に輸送され戦力化されてゐる

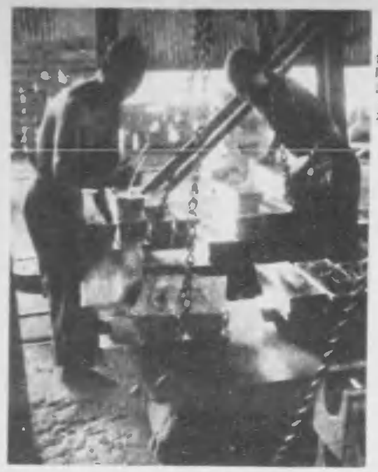
殊に錫はペナン島に、これもまた世界一の錫精錬所があり、豊富な原鑛をどん〳〵製品にしてゐる。精錬所は〇〇万トンの精錬能力を有してをり、その約半數はイギリス本國に送られてゐたといはれる。マライの喪失がイギリスにとつて如何に痛手であるかこの方面からも十分肯かれよう

戦爭の際、イギリス兵やイギリス人技師によつて破壊された箇所も今では完全に復舊がなり、精錬所は今その一杯の能力を發揮してゐる。對岸プライの街からペナン島を望むと、島の中央に聳立してゐる數本の煙突からは島を蔽ふやうに逞しい煙が吐き續けられてゐる。その下には原住民でも苦勞にしてゐる熔鑛爐が白熱の錫を滿々と湛へてゐるわけで、精錬された錫は、後から〳〵貨車で港に運ばれてゆく。いま錫の街ペナンは、戦前にも増して明るく賑打つてゐる

撮影　マライ軍政監部宣傳部

⇦ 鉱鑛のやうな原鑛。含有量は七十五パーセント以上といはれる

⇦ 冷鑛器の横にある穴から二十メートルもある鑛棒を突込んで、上下付の攪拌作業が行はれる



⇦ 焙けた錫は鑛型に流し込まれ、冷却後、錫精製品檢査所を經て倉庫に入る

⇦ 高壓で送られる重油は青白い焔と凄まじい音で錫に挑む

⇦ 焙へ、そして内地へ送り込まれてくる

⇦ 焙鑛器の後にある反射爐

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

マニラに女警官登場

南方はいよいよ明るくなる

東條内閣總理大臣の議會聲明に應へて年内に獨立しようと意氣ごむ比島は、ベルガス長官を陣頭に、獨立に對する絶對な條件である治安の全面的な確保、東洋的精神及び文化への還元、自給經濟の確立といふ三點にあらゆる努力を傾倒してゐる

一時『惡い』といはれた比島の治安狀況も、東條聲明や中央治安委員會の活躍によつて最近では、敗殘兵や匪賊の投降の數が目立つて多くなつてきたことや、長い間治安の不良だつた地區の好轉ぶりなど、全島の治安狀況は次第に確立されてきた

この治安の好轉とともに、ホニファシヨ内務長官代理の言にもある通り『比島民の生命財産を保護するためには、現在の比島警察隊員ではまだ十分とはいへないが、更に增員してこれをマニラ及び地方に配置し、保甲制度と連絡をとつてゆくことが最良の方策である』と比島行政當局は警官の大增員をはかつてゐる。この現はれの一つとして、こゝに紹介したやうに、マニラには女警官が颯爽と登場、治安の維持に當つてゐる

撮影　陸軍報道班員

⇦手さばきも鮮かな女警官

⇦敬禮の動作もキビ〳〵と猛訓練が行はれる

⇧小學分子の手先となつた不良婦女子がマニラ市に潜入したことは大變だ。大警官の指揮の下に婦人警官の一團は大變な未然に防ぐ

犯罪者檢擧に指紋の對照をしてゐる女警官の仕事

⇧東亞精神を知るには先づ日本語を學ばねばならぬ。女警官は日本語の研究に熱心

⇦辻馬車や電車が連絡するマニラ市目貫通りの交通整理

二宮さんヘタルカヤジン

二宮金次郎像を囲んで、インドネシアの先生は、子供たちに、私たちも金次郎さんのやうに勤勉なヨイ子供になりませうと訓示した

二宮金次郎が薪を背に、インドネシアのヨイ子に物語る絵ハガキ

ルタの鄙子の衣に包まれたチハヤ學校では、インドネシアの子供たちが二宮さんと一緒に、蘭印政府時代の單調教育から解放され、日本の指導で伸び〳〵と勉強し、毎日日本語や唱歌の練習をしてゐます

チハヤ學校――始業の鈴が鳴つてゐる

ジャワ全島には、このチハヤ學校の手本に、昨年の天長節から再開された國民學校はすでに一万一千校に及んでをり、全島のヨイ子供たちは、日本語が早く上手になつて日本のお友達と手紙の交換をしたいと、日本に對する強い憧れをもつてゐます

鬼子の姿を消るスガ〳〵しい朝風に、戦旗はスル〳〵とあがる

南方はいよいよ明るくなる

鉢巻もキリ〻と剣道の型を學び、精神を鍛へるインドネシアのヨイ子供

お日さまを一杯に浴びて、日本の唱歌のおけいこ

放課後、花壇に草花を植ゑ自然の觀察力を養ふ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

くし逞くる明よいよいは方南

たしまりなに手上になんこ

畫圖と文作の徒生校學語本日のーグベ・マルビ

このほどビルマからはるゝ〳〵ベグー日本語學校生徒達の作品が送られてきた。作品は作文十一點、圖畫二十五點で、その一部をこゝに紹介する

生徒の年齢はまちゞで、男あり女ありであるが、日本語の上達ぶりには一驚を喫する。片假名だけのもの、半假名だけのものもある。中には漢字交りの堂々たる文章をものしてゐるものがある。書の上手下手は問題外にして、日本の兵隊さんや飛行機などが題材とされてゐるのは、新らしいビルマの空氣が身近かに感ぜられるやうで微笑ましい

ともかく、作品全般からは大東亞共榮圏建設に對するビルマ人の眞劍な氣構へがにじみでてゐて力強い限りであり、これだけにわれわれの責任が一層重いことを感ぜさせられる

ベグー日本語學校生徒

マウンタントウン（十六歳）

わたくしのかつこう

わたくしはベグーにつほんごがつこうせいです。わたくしのがつこうはまちのまんなかにあります。そしてゆうびんきよくといちばのちかくにありますがつこうのたてものはほりがあつてきれいのはらがあります。わたくしのがつこうきれいあつてはんぶんさいもつて、はんぶんはれんがでつくりました。かいかはれんがでかいはさいちがいてはたいいのへやつはたいさんのへやです。そしてわたくしのへやです。ほかのへやはせんせいのへやです。かいは一つの大きなへやつあつて、ここにわたくしたちはまいあさはとけさまをまいります。せんさうのまへにそのがつこうはベグーこうとんがつこうです。わたくしのまへのがつこうでしたわたくしのがつこうにせいとが一ひゃく五十人くらひおります。わたくしの一へやには五十人くらいです。へやにはゞさんのまどがあつてここちよいかぜがふきます。そのためにわたくしたちはたいへんげんきでにんほんごをたんきゝしてゐます。

がつこうのしにはこまります。そしてしたにはります。わたくしたちはにつほんとゝほんかゝこうきをならつてゐます。それはすこしむつかしいです。しかしせんせいはよくをしへます。わたくしのがつこうはかんじもすこしならつてゐます。

わたくしたちのせんせいはしんせつな人です。せんせいはわたくしたちにつほんごをでんきこうするためにつほんかゝきました。せんせいのなまへはあきやまこでした。いませんせいはベグーシュエーモドーパゴダのちかくに、きれいないえにすんでゐます。せんせいはひとりですんでゐますからわたくしは「せんせいはたいへんさびしいだらう」とおもひました。

（おはり）——原文のまゝ

ビルマを生んだ母と旗　ベ・ーグ日本語學校生徒　モンセ・ーシュエ・ンモ十六歳（男）

ビルマの古將「マハーハントラ」　ティン・シュエ（男）

日本兵隊　モン・モン・ミー十四歳（男）

「しやしんてんらんかい」

昨日は四月二十一日で學校のお正月のお休みが終りまして學校が又始る日でした。學校へ着くともう先生が着いて居ました。何時着いたのでせう。先生が澤山のしやしんを持つて居るのを見ました。僕は何んのしやしんだらうと思つて大急ぎで行つて見ると「やあ、皆、ニュスのしやしんだ。」先生に聞くとそのしやしんを先生はランゲーンの軍政監部からかりて來たと言ふ事を聞いて僕が「先生このしやしんを何時までとりしてここにおきますか。」と又たずねると先生は「あーこのしやしんをこの學校に一週間しやしんてんらんかいをやつて皆の町の人々や日本の兵隊さんにお金を取らないで見せます。」と答えました。

僕はどんなにか嬉しいのを口でもふでもあらわせませんでした。だんだん生徒が多くなつて僕はあついから外へ出て行きました。

じゆうきよが終ると先生は僕や二人か三人位の僕の友達や二人の緬甸の女の先生に「貴方がたはここにのこつて居なさい。今日てんらんかいのためじゆんびをしなければならぬ」とこまれいをしましたので、僕達がのこつて居ました。一番始めにつなをきようとしたつのかべにつけました。さうして皆で五六人でしやしんをかけました。僕は大きなこゑで軍歌を歌ひながらかべにかけたり、喜んでして居る間に、先生はきようしつの中へ入つて「マウンティントウン」達は外の人人がするでせう。貴方はポスターを澤山書きなさいとおつしやいましたので僕はつくえへ行つてふでをかういふ事を緬甸語で書きました。

日本のしやしんてんらんかい

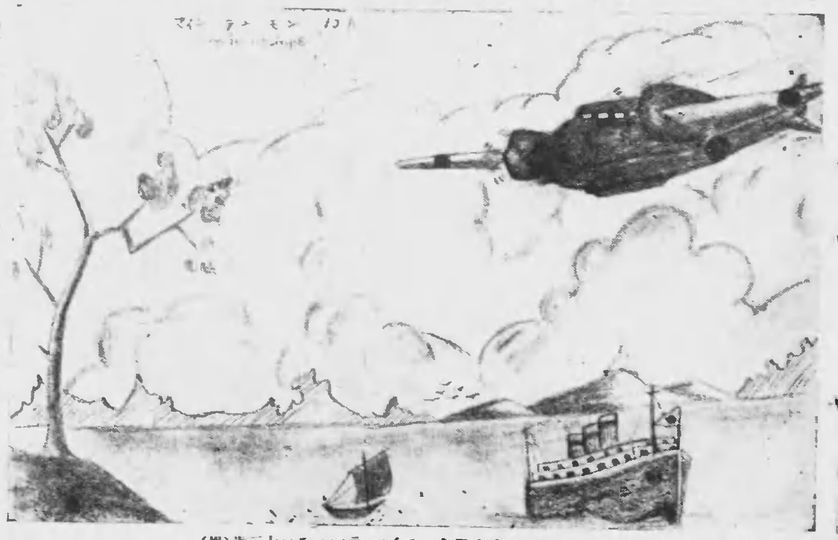
昭和十六年四月二十一から二十八日まで

毎日午前十一時から午後六時まで皆でお見せになつて下さい。お金はいらない。

秋山先生。

昨日、僕は大きなこゑで軍歌を歌ひながらポスターを張りました。ポスターに書いて居ました。ポスターがとの位終つたからもつとうれしくなつて一番大きなこゑで歌を歌つて書いて居ました。急に五、六枚位いのポスターが出來ました。僕がもつとなんのでこの生徒が明日の一先生僕は五、六枚出來ました。ことはりましたこゝまたこゝ人人がもしいのこゝ家にかゝりたいと思ハます。こゝにとおりと先生はいかゝりなさい。こゝろなさいたおつしやいました。僕はは」を取つて「先生さようなら皆さんさようならーとごあいさつをして學校を出ました。

終。



ヒカウキとフネ　マイン・ティン・モンモ十三歳（男）

「マウンマウンタン」年十六（男）

メミヤオ町

メミヤオ町はビルマのきたの方にあります。

夏にビルマのやうにとこにはこメミヤオ一町へ行きます。この町のきせつはたいへんよろしいために皆の人人累い時にメミヤオへ行きます。この町のちかくに浮山の山があります。そのためにメミヤオの牛乳はその山の麓へ行きます。その山の上からこタウンジの町が見えます。川も見えます。メミヤオ町にはこうえんがあります。

そのこうえんに美しい花がいつもさいてゐます。その町の市場は一週間に一かいしかありません。このために市場の所はたいへんにぎやかです。その町に櫻の花が少しあります。メミヤオの町の人にはいにもあさみにきます。

（おわります）——原文のまゝ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

配給だけで』と頑張る

東京都杉並區方南町
東町會隣組

方南町東町會五十三隣組
組長 小山勝治
副組長 和田主悦
藤枝春[illegible]
齋藤武之助
山本敬事
森杏造
竹林恒榮
佐藤[illegible]
永田[illegible]
岡野[illegible]
竹内[illegible]
大村[illegible]
小出[illegible]
福田[illegible]

一、闇法を犯し闇取引を行はず、統制に服して生産者たる[illegible]取引をなさず

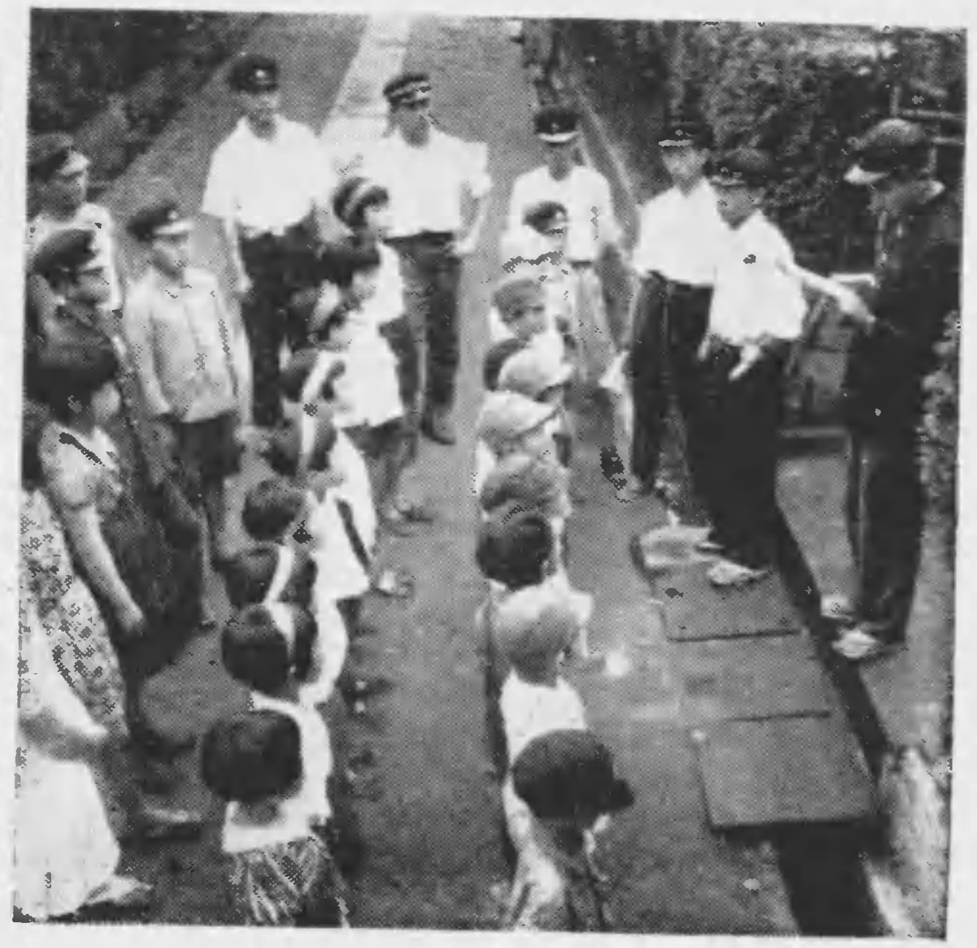
一、配給食糧品以外に食糧品を絶對に自由購入せず工夫を凝らしてこれを克服し、いはゆる配給のみの生計をたて、戰時最低生活の確立を期す

一、衣料は[illegible]のほか、新品購入を許さず

これは、日一日と深まる決戰の様相に、銃後も戰場だ、今こそ[illegible]の心をもとして第一線に應へようと、隣組長小山勝治さん以下、十七世帶八十三人の固い誓約だ

食糧は[illegible] そのためには各家庭で[illegible]った食糧を[illegible]合ふ一方、學徒隊の勤勞奉仕で、一坪の庭も開墾して食糧自給をめざす。隣組全體で最低必要量を[illegible]、[illegible]を[illegible]して成年は毎年一回、青年は四回、幼少年は毎月、健康診斷を行ってる[illegible]この結果、[illegible]の生活費は國債の購入にまで、[illegible]をしないで[illegible]な時間は、内職をして、組合貯金や[illegible]保險の掛金を作らうと、野戰生活の徹底化へ出發した

撮影 菅田 俊夫



⇦配給の[illegible]を持ち[illegible]の共同[illegible]、[illegible]も[illegible]共同炊事にしたら、[illegible]

⇨「ご苦勞さまでした」配給の知らせに隣組員が組長の家へ集り、次ぎ〳〵に受取って行く――和やかに、しかも整然と

⇧照明は隣組に親切感謝店。ここには常に流れる物資をなくした明るい配給の生活がある

大學生は[illegible]の兄たち。朝た時、隣組内學生生徒全員揃って海軍豫備學生を志願する大學生[illegible]の中に、後につゞく學徒の決意を促す 右下

いざ空襲――に備へて防空壕の[illegible]、隣組内[illegible]時に擴大した場合の消火まで、一緒に[illegible]大詔奉戴日に演習したとのことである 右中

闇を買出しにあくせくする時間があったら、内職をして貯金しませう。女なら誰でも出來る手軽な飾り紐編の一つ ⇩

⇦戰時下には贅品や不用品は[illegible]

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

決戰衣服はこれだ

上段 簡素化の雛型
下段 街に村に拾ふ實例

⇦ 冠婚葬祭は平常着で――訪問着を更生した乙型標準服の花嫁、乙號國民服の花婿

⇦ 神前に聽場服で頭を垂れる女子工員――聽場服は銃後の軍服のやうなものです。衣服は簡素でも、内にこもる禮節は眞摯な態度に現はしませう

⇦ 普段着即外出着だ、『ちよつくら役場へいつてくべえ』と、お百姓さんの決戰衣料體制は簡素そのものだ――茨城縣南相馬郡寺原村役場

⇦ 戰ひだ、見栄や恰好をぬきすてて農村は戰ふ衣服で身ごしらへだ。肩や膝にあてたつぎの一針々々に縫ひこめられた熱意の尊さ――寺原村、

新調しないこと、これが決戰下の衣生活で一番大切なことです

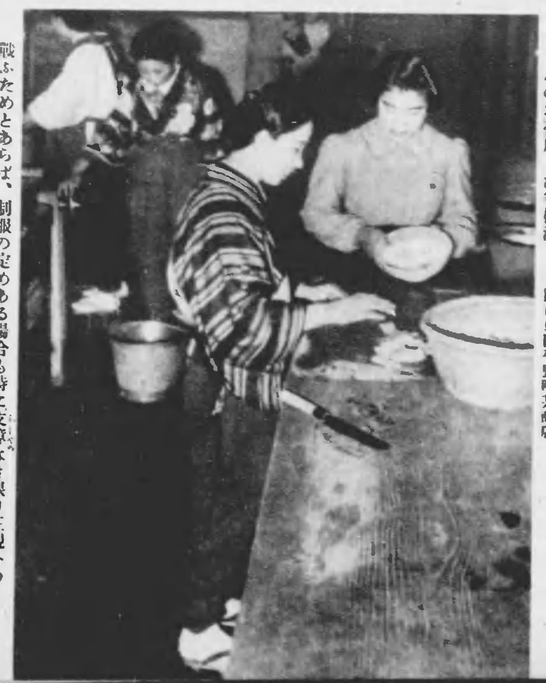
男は國民服、女は標準服、これがわれ〳〵のこれからの生活の原則には違ひないのですが、繊維資材を戰力へ廻すためには、新調をやめて有るものを着れるだけ着ようといふことを、どこまでも實行しなければなりません。だが、何でも着ようといつたところで、實際には自づと限度があるわけです。そこで、先ごろ決められた戰時衣生活簡素化實施要綱に從つて決められた大よその形をこゝに示してみませう

資材を生かすために思ひきつた線まで飛躍しませう。すでに都會に農村に實踐されてゐる幾多の好例と共に、皆さんの衣生活に明確な一線を劃することと思ひます

撮影上段 吉田 榮
下段 梅本忠男
小石 清

⇦ 色合ひや柄や恰好をいふべき時ではない。澤山あるお母さんの着物は娘さんと共同で着ませう。他人のなりふりを笑ふやうな惡習慣は絶對にやめませう

⇦ 背廣服を更生した國民服乙號型
柄物でも色物でも大いに結構



⇦ 御寮はんも、いとはんも戰ふ生活にはこの恰好にかぎると船場の問屋さんのお臺所も活氣横溢――大阪市東區平野町某商店

⇦ 戰ふためとあらば、制服の定めある場合も特に支障なき限り正規外の服裝大いに結構。お手製モンペの女車掌さん――大阪市電

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

決戦衣服はこれだ

上段 簡素化の難型
下段 街に村に拾ふ實例

⇨ 靴下無しに短ズボン。夏季の最も簡單にした女子の衣服

標準服甲型一部式應用型を着こんで颯爽と ⇩

ワイシャツのお古を婦人用に改造した長ズボン。足首は締めた方がよろしい ⇩

かつてアッパッパと稱せられた浴衣改造の簡單着——洗ひさらし結構、ギリ〳〵のところまで着よう ⇩

⇦ 街の鋪道を潑剌と戰ふ服裝部隊が——大阪市堺筋

とれでとそ、夏季執務の能率も増進されようといふもの。決戰衣裳は先づ官廳からと率先垂範——大藏省 ⇦

社長の前へはこの恰好ぢや出られんからな、などといふのは平時のことです。社長さんも率先上衣なしでゆきませう ⇦

上つぱりが作れなければ、元祿袖の平常着にモンペでタイプも打ちませう ⇦

筒袖に膝までの短い部屋着に、ズボンやモンペをはいて外出着に、こんな工夫も大いに生かさう ⇨

夏や暑い所では外出も執務もこれで結構。膝の切れたズボンや古ワイシャツの改造補修で駄ひ拔かう ⇦

男の和服にもとの工夫との用意あり、筒袖モンペの下をしぼつてゲートルを卷けるやうにし、外出の際いつも風呂敷包に足袋や帽子やゲートルなどを用意、直ちに防空作業に挺身しようといふ決戰型——大阪市 ⇦

戰ひだ、前線に戎衣を纏ふ勇士に學ばう。つぎだらけのズボン、短くなつた上衣を綴つて若人は颯爽と戰ひにそなへる——東京淸美中學 ⇨

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical
http://www.jacar.go.jp/

食糧增產の援兵 ⇧

福岡市 野田憲司

何が何でも食糧を確保しなければならぬ決戰の年、農家が手不足をなげいてゐると知つた福岡市商業報國會推進隊は、全員出動して麥の刈入れに、一日汗の奉仕をして、農商一體の逞しい協力を示した

學童も害虫驅除に一役 ⇩

岐阜縣 加藤太・

惠那郡陶町國民學校兒童百八十名は先生方の指導で、青虫五八三四、蛾五五九二、卵五二一三といふ害虫を捕獲して、食糧增產の仇敵を見事に退治した。これぞ農蠶の求敵必滅だ

輸送戰士を激勵 ⇧

東京 東京商工會議所

海陸綜合輸送力、特に荷役力の強化促進を期して、東京商工會議所は都下商工業者の總意を糾合して六月二十三日、藤山會頭が先頭となり、輸送戰士感謝激勵を行つた。寫眞は東京汐留驛における藤山會頭の感謝激勵

國民映畫

大陸新戰場 ―浙贛作戰の記錄―

陸軍省報道部監修
中支派遣軍登部隊指導
文部省推薦

日本映畫社
中華電影聯合股份有限公司 共同作品

昨年五月以來約四ケ月半にわたつて行はれたわが浙贛作戰によつて、在支米空軍の對日攻擊據點は粉碎され、重慶第三戰區における敵戰鬪力の擊滅、殘存重慶密輸路の封鎖は全く成り、敵が唯一の輸血路とたのみ建設中であつた浙贛鐵道及び重要戰爭資源の獲得活用といふ輝かしい戰果を收めたのであるが、本映畫は南方諸地域における皇軍の赫々たる戰果と並行して、大陸において達成されたこの浙贛作戰の當初より約五ケ月、部隊と共に第一線にあつて撮影したもので、勇猛果敢なる皇軍の奮戰の實況、黃梅、建設等新支那再建の逞しい息吹きをとらへると共に、支那民衆の協力の姿を描き、本作戰の重要意義を闡明したものであつて、新らしき段階に達した中支戰線に對する國民の認識を更に深めるものであろ

寫眞週報

★表紙

少年產業戰士に今日はたま〳〵のお休み日、その休日を少年たちは工場脇の空地利用の農園で眞黑になつて働いた。油にまみれ機械の騒音に疲れ果てる平生とは打つて變つて日の光を一杯に浴びながら、郷里の畑を思はせる土の香を嗅ぎながら鍬を振つたけふ一日の何んと快かつたこと

『いよ〳〵本當の夏だな』

『郷里ぢや忙しくしてるだらう。僕らのことも心配してるぜ』

『しつかりやらう』

『うん、また明日からな』

懸賞募集

内容 百七十億貯蓄を完遂するには國民の一人一人が決戰銃後に出陣し左の活設計を大綱として現在の生活の中から生み出す各種の郵便貯金制度をよく研究して自己の生活に即して一段と堅實に貯蓄を實踐しなければならないその意味で實行性のあるものを御投稿下さい

制限 字數には制限なきも必ず主紙大原稿紙使用のこと

審査 貯金局、大政翼賛會

賞金 入選五篇 百圓 國債一枚宛
佳作 五篇 十圓 國債一枚宛

宛名 貯金局規畫課 第二奬勵係

締切 昭和十八年七月三十一日

發表 昭和十八年九月一日新聞等にて發表の豫定

其の他 一、佳作氏名を明記すること
二、應募作品に對する一切の權利は貯金局に於て取得す

二百七十億貯蓄總進軍

便利な積立貯金

もうこんなに…と思ふ程知らず知らずに貯まる貯金が嬉しい、毎月郵便局からお年玉が…お鈔光へ…も集金に伺ふので便利このへない貯金で、百圓とか千圓とかいふ豫定額をきめて、毎月一定のお金を積立てるのです。

豫定額は 百圓、二百圓、三百圓、五百圓、千圓 の五種

掛金は 一圓、二圓、三圓、五圓、十圓、二十圓、三十圓 の七種

積立期間は豫定額と掛金によつて最短二年から七年四ヶ月の間いろ〳〵あります。

〃新世帶積立貯金まづ始め〃

有利な定額貯金

これはまた永く預けて置けば置くほど利の良くなる貯金で預入期間に依つて二分八厘六毛乃至四分強の利子が附きます。

名前の通り二十圓、五十圓、百圓、二百圓、三百圓、五百圓と定つたお金を一度に貯金するもので、預入期間は十ヶ年以内ですが、一年たつと何時でも拂戻しが出來ます。

〃定額の味がわかつて又預け〃

貯金局

寫眞週報（表紙寫眞）
昭和十八年七月七日 印刷發行
編輯者 情報局
印刷者 東京都麹町區永田町一ノ一 内閣印刷局
發行者 東京都麹町區大手町 内閣印刷局

定價
一部十錢（送料一錢）
（外國郵送に依る地域は送料共一部十九錢）
▲特大號の場合は其の都度御拂込金より差額を申受けます

申込所
全國各地官報販賣所
書店・驛賣店
新聞販賣店
寫眞材料店

本誌を回覽に
本誌を、隣組や職場で回覽するなど出來るだけ有効に御利用下さい

前線慰問にも
またお讀みになつたら本誌を前線慰問に送りませう 送料は内地と同樣で帶封あるひは開封にして第三種と明記すれば一部一錢です

内閣印刷局印刷發行
（「寫眞週報」…A4判規定國はがき大の書本）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/